

1

(1)	183	(2)	282	(3)	136	(4)	26
(5)	57	(6)	172	(7)	16 (秒)	(8)	188 (mL)
(9)	56	(10)	10	(11)	7 (ひき)	(12)	40 (点)

2

(1)	7 本目	(2)	15 本
-----	------	-----	------

3

(1)	34 才	(2)	12 才
-----	------	-----	------

4

(1)	3 (敗)	(2)	6 回
-----	-------	-----	-----

5

(1)	19 番目	(2)	201
-----	-------	-----	-----

6

(1)	4 cm長い	(2)	12 cm長い
-----	--------	-----	---------

- 1
- (5) $45 + \boxed{} = 102$
 $\boxed{} = 102 - 45 = \underline{57}$
- (6) $\boxed{} - 117 = 55$
 $\boxed{} = 55 + 117 = \underline{172}$
- (7) $1\text{分}11\text{秒} = 60\text{秒} + 11\text{秒} = 71\text{秒}$
 $55\text{秒} + \boxed{}\text{秒} = 71\text{秒}$
 $\boxed{}\text{秒} = 71\text{秒} - 55\text{秒} = \underline{16}\text{秒}$
- (8) $2\text{dL} = 200\text{mL}$
 $\boxed{} = 200 - 12 = \underline{188}(\text{mL})$
- (9) $33 - 5 = 28$ $\boxed{}$ の半分が28。
 $\boxed{} = 28 + 28 = \underline{56}$
- (10) $22 + 22 = 44$ $\boxed{} + 44 = 54$
 $\boxed{} = 54 - 44 = \underline{10}$
- (11) $4 \times 6 = 24$ …ネコの足の数
 $80 - 24 = 56$ (本)…タコの足の数
 $56 = 8 \times 7$ より、7ひき。
- (12) 右の図のようになる。

正解

不正解

$20 - 4 = 16$ (問)
 $16 = 8 \times 2$ より、
正解は8問。 $5 \times 8 = \underline{40}$ (点)

- 2
- (1) 正午 = 12時
6時の電車が始発の電車で、この日の1本目。
 $12 - 6 = 6$ (時間)あと
 $6 = 1 \times 6$ より、6本あと。
→ $1 + 6 = \underline{7}$ (本目)
- (2) 午後8時 = 20時
 $20 - 6 = 14$ (時間)あと
 $14 = 1 \times 14$ より、14本あと。
→ $1 + 14 = \underline{15}$ (本)

- 3
- (1) 3人なので、1年で合わせて3才年をとる。
3年で合わせて、 $3 \times 3 = 9$ (才)年をとる。
よって、 $43 - 9 = \underline{34}$ (才)
- (2) 3人の年れいを、図で表すと下のようになる。

弟

さとし

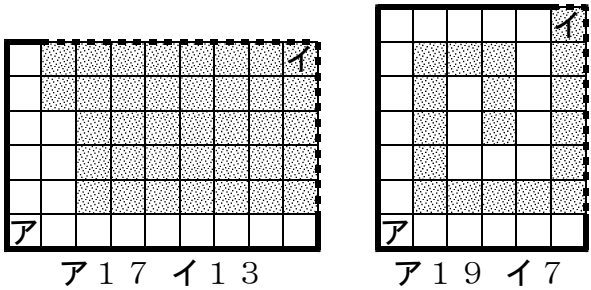
兄

$34 - 4 = 30$ (才)が、目もり
 $30 = 6 \times 5$ より、1目もりは6才。
さとしは、 $6 \times 2 = \underline{12}$ (才)

- 4
- (1) じゃんけん1回ごとに、1人ずつが勝ちと負けになる。よって、勝ちの数の合計と負けの数の合計は同じ。
勝ち… $6 + 3 + 6 = 15$ (勝)
負け… $4 + 8 + \textcircled{ア} = 15$ (敗)
よって、 $\textcircled{ア} = 15 - 4 - 8 = \underline{3}$ (敗)
- (2) 3人合わせて15勝15敗なので、じゃんけんは全部で15回。さとしは(1)より6勝3敗なので、じゃんけんに、 $6 + 3 = 9$ (回)参加している。
よって、さとしが参加していないあつき対かずやのじゃんけんは、 $15 - 9 = \underline{6}$ (回)

- 5
- (1) 一の位が2→2, 12, 22, …, 92の10こ
十の位が2→20, 21, 22, …, 29の10こ
そのうち、22は共通している数。
よって92は、 $10 + 10 - 1 = \underline{19}$ (番目)
- (2) 92のあと、
102, 112, 120, …, 192となる。
これらは、(1)の19こに100ずつ加えた数なので、同じ19こある。
 $40 = 19 + 19 + 2$ なので、あと2こ。
よって、200, 201, …で、201。

- 6
- アのまわりでもイのまわりでもある部分は、考えなくてよい。よって、それぞれの図の長方形の辺の部分だけを考える。
- (1) $17 - 13 = \underline{4}(\text{cm})$ 長い
- (2) $19 - 7 = \underline{12}(\text{cm})$ 長い



(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10